

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただくためのご注意ならびにご使用方法が記載してあります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

読んだあとは大切に保管してください。

affel

アッフル
チェア

⚠ 組み立て商品は定期的な締め増しが必要です。

必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

この取扱説明書では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「警告」「注意」を以下の定義で用います。

⚠ 警告…この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ストーブなどの火気・危険物の近くで使わないでください。火災・やけどの原因になります。
- ・座板・足置き・テーブルの上で立ち上がったり、前後左右に身をのりだしたりさせないでください。
落下や転倒によりケガの恐れがあります。
- ・横向きや後ろ向きで座ったり、正座、股ベルトをまたいでいない状態で座らせないでください。
その状態で使用すると、脚、胴、首などが隙間にはさまり、ケガまたは死亡の恐れがあります。

⚠ 注意…この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷および物的損害を負う可能性があります。

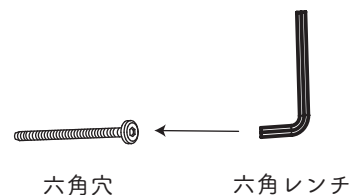
- ・本製品の対象年齢は、お座りできる概ね生後7ヶ月（首や腰がしっかりとした状態）から体重60kg以下です。
乳幼児（60か月以下）が使用する場合は保護者の監督下（特に36か月以下は必ず保護者が付き添い）で
使用してください。
- ・3歳未満のお子様を使用する場合は、必ず身体保持機構（ガード又はベルト）を装備してご使用ください。
- ・乗り降りの際は保護者の付き添いのもとで行なってください。
- ・ベビーチェアとしてご使用される場合は、足置き板はお子様の足が届く高さに取り付けてください。
- ・お子様の足が床に届くまでは足置き板を取付けて使用してください。
- ・乱暴な取り扱いや踏み台にするなど、いす以外の用途には使わないでください。
- ・お子様をのせたまま商品本体を持ち上げたり、移動させないでください。
- ・テーブル回転や固定は、お子様の手指などを挟むことがないように、お子様が触れた状態で行わないでください。
- ・テーブル及び手すり（フレーム）から身体を乗り出させないでください。
- ・床に傾斜や段差がある（水平・平坦でない）場所、野外でのご使用は避けてください。
- ・お子様が足乗せを踏み台にしてチェアに乗り降りする場合は、バランスを崩すと危険ですので、
保護者が付き添ってください。
- ・外から力をかけると転倒の危険性があります。特にお子様が乗っている場合は注意してください。
またお子様が乗っていない場合を含み、他の幼児が外から手をかけたり、よじ登ったりしないように
注意してください。
- ・ご使用の前に、必ず座板・足置き板が固定されている事を確認ください。
- ・ご使用の前に、ボルトのゆるみや、木部のひび割れ、ガタツキ等の異常がないか必ず確認してください。
- ・座板を下げすぎると、お子様が脚フレームや背板と座板などのすき間に挟まる危険性があります。
- ・テーブルを使用されない場合、固定用の穴が露出しますので、注意してください。
- ・製品を保護しているビニール袋や梱包材などは、お子様が触れないように確実に廃棄・処理してください。
- ・組み立て部品（ボルト・ナットなど）をお子様が誤飲しないようご注意ください。
- ・製品及び付属品を廃棄する場合は、各自治体の指導に従って処理してください。
- ・フローリングや畳など傷つきやすい床面でご使用時は、床面のキズ・破損防止のため、
必ずカーペット等の敷物を敷いてご使用ください。
- ・お子様1人用です。2人以上乗せないでください。
- ・本体のステッカーは、剥がさないでください。

組み立てのご注意

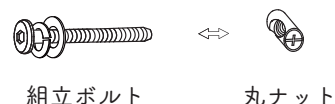
- ・組み立ては、必ず保護者が行ってください。
- ・水平な場所にやわらかい布等を敷いて行ってください。商品や床がキズつく恐れがあります。
- ・組み立て時に部品を手や足の上に落としたり、部品の転倒などでケガをしないようご注意ください。
- ・組み立て部品（ボルト・ナット等）の鋭利な部分でケガをしないようご注意ください。

・六角レンチ

ボルトの六角穴へ奥までしっかり差し込み、
ボルトに対し垂直に力をかけながら締めてください
※ゆるめる場合も同様

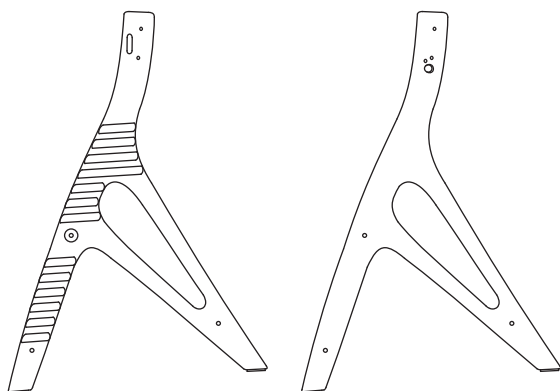


- ・ボルトから丸ナットを取りはずして組み立ててください。



部品表 (名称と個数)

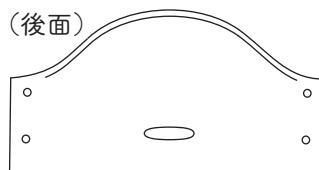
図は簡略化されており、実商品と少し異なります。
組み立て前に、部品がすべてそろっているかご確認ください。



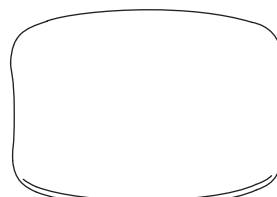
左フレーム

右フレーム

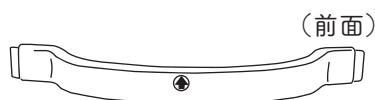
各 1 枚



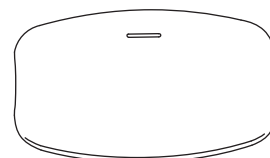
背板 1 枚



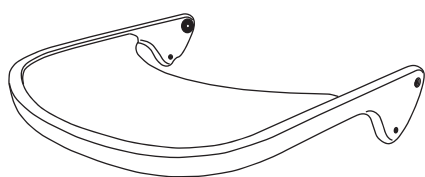
足置き板 1 枚



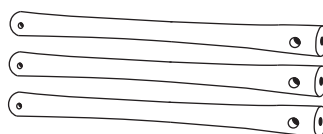
ガード 1 枚



座板 1 枚

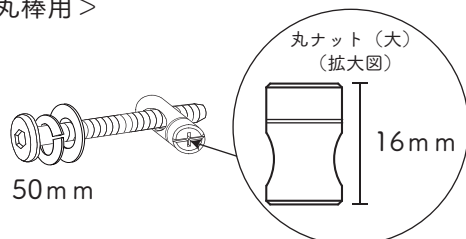


テーブル 1 枚



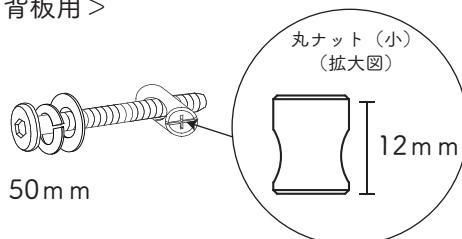
丸棒 3 本

< 丸棒用 >

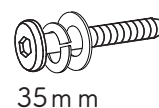


組立ボルト<丸ナット (大) 付>
6 本

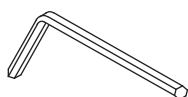
< 背板用 >



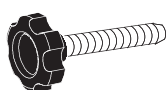
組立ボルト<丸ナット (小) 付>
4 本



テーブル取付用ボルト
2 本



六角レンチ
1 本



ノブボルト
2 本



木製ノブボルト
1 本



ベルト
1 本

組み立てのご注意

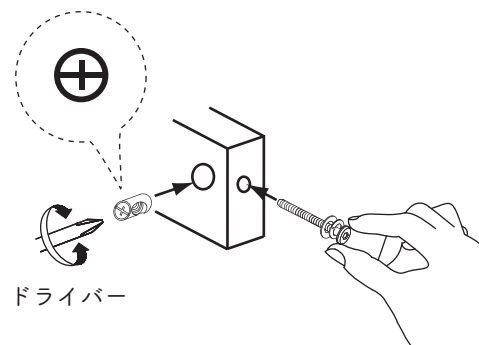
- ・丸ナットは+溝が見えるようにはめてください。
- ・プラスドライバー (お客様にてご用意ください)
丸ナットの向き調節に使用すると、簡単に組み立てられます。
- ・ボルトの締めはじめ 2・3 回転は手で回し、
まっすぐ入ることを確認してから、六角レンチを使用してください。



ボルトが丸ナットにはまらない時は、一度ボルトをゆるめ、
再びボルトをナットの穴に対しまっすぐに入れて、
手でゆっくりと締めなおして下さい。



無理に六角レンチで締めるとボルトまたはナットが破損します。



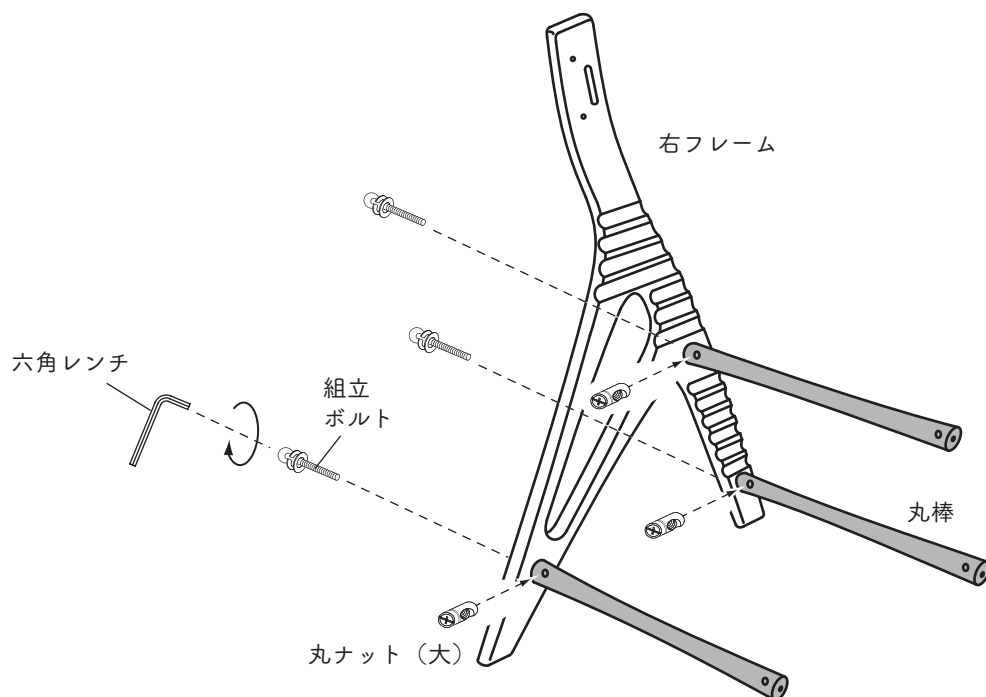
ドライバー

組み立て方

1. 片側のフレームに、丸棒を組みつけます。

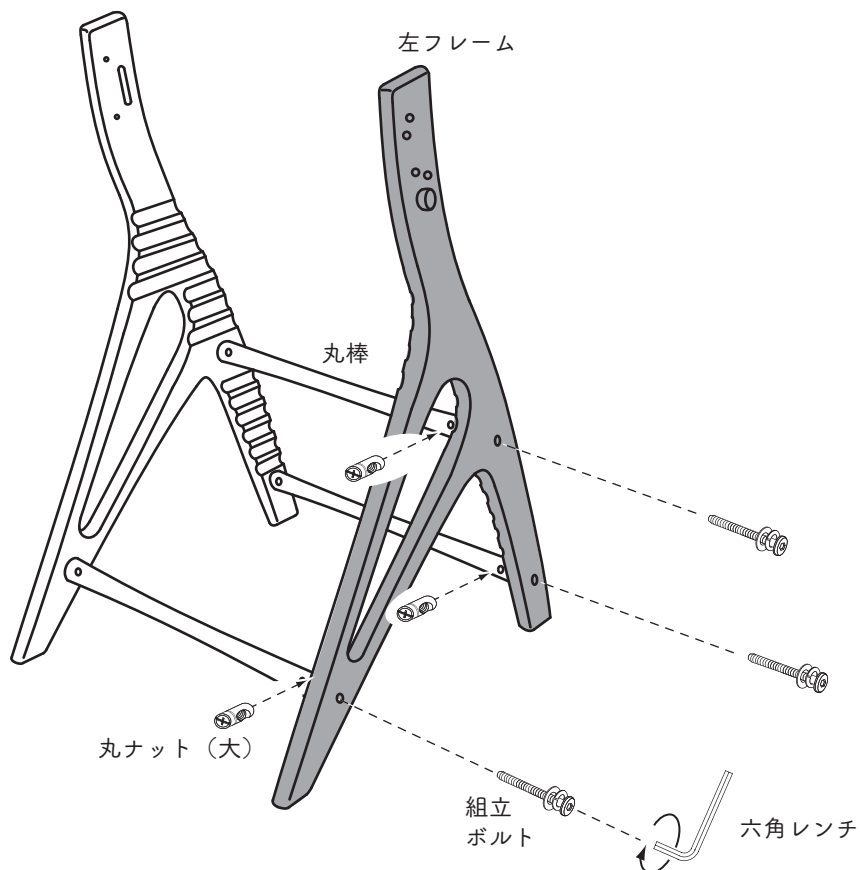
丸棒の穴に、丸ナット（大）をプラス溝が見えるようにはめて、組立ボルトで締めてください。

※ボルトはゆるくとめてください。（ぐらぐらする程度）



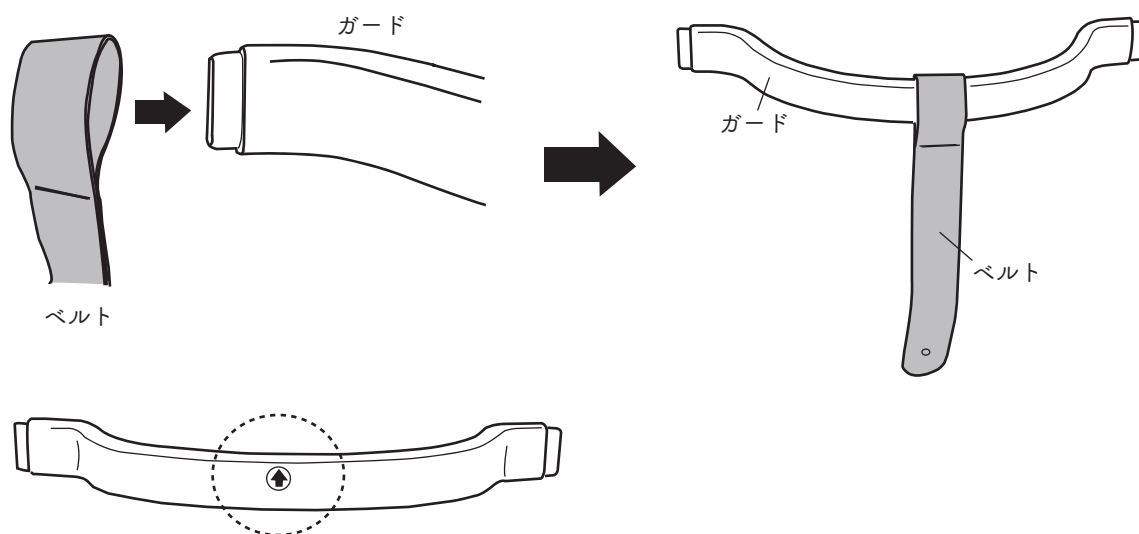
2. 反対のフレームを同様に組み立てます。

※ ゆるめに組み立てておくと ガード・座板・足置き板が組みやすくなります。（ぐらぐらする程度）



3. ガードにベルトを取り付けます。

ガードの端からベルトを通してください。

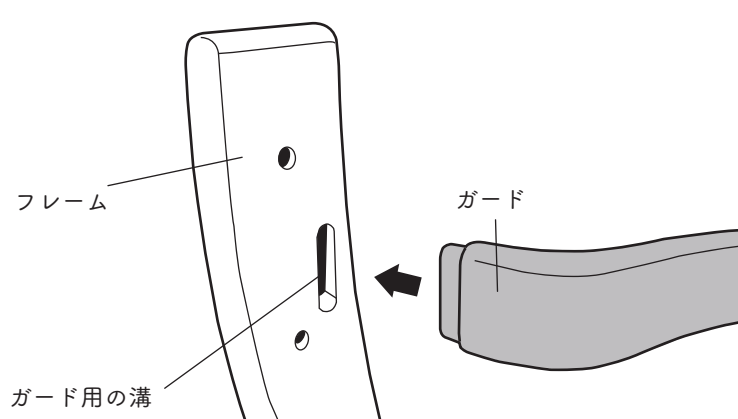


※矢印が上を向くように取り付けてください。

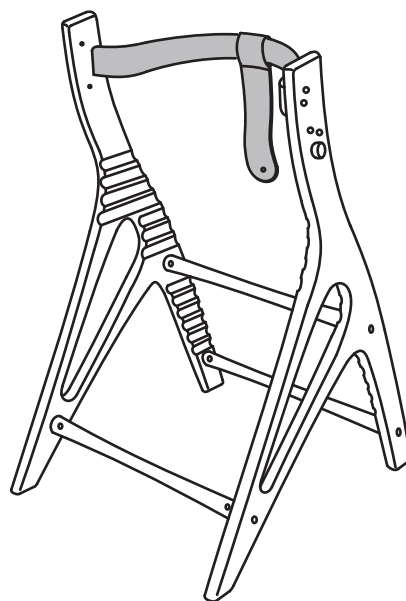
4. 左右フレームにガードを取付けます。

左右フレームの溝にガードを差し込んでください。

※ボルトを締めすぎているとガードを差し込むことができません。その場合は丸棒のボルトを少しゆるめてガードを差し込んでください。



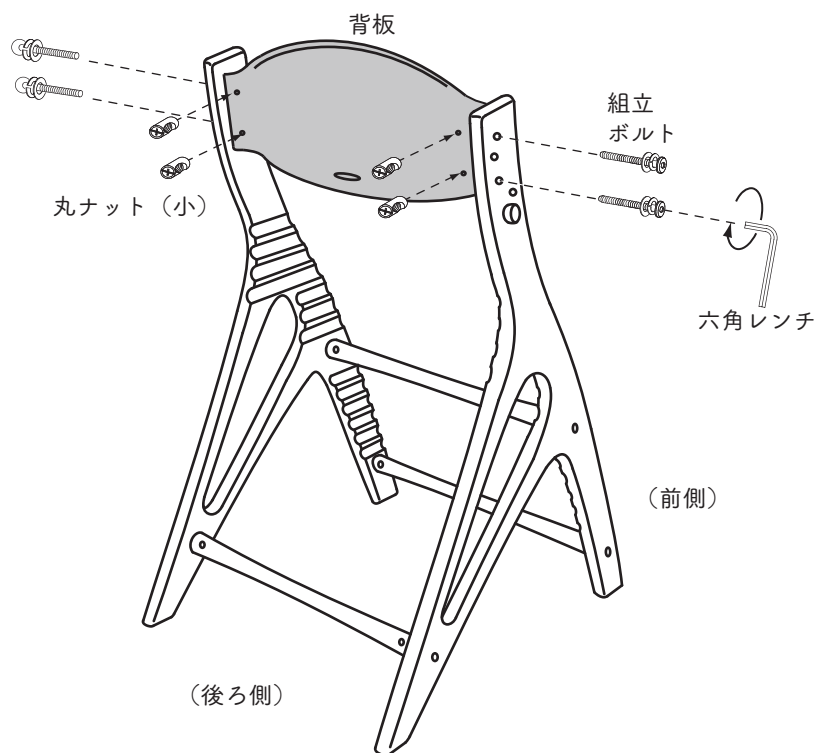
※ガードの⬆の向きが上を向いていることを確認の上取り付けてください。



5. 左右フレームに背板を取り付けます。

背板のナット穴に、丸ナット（小）をはめ、組立ボルトを左右フレームから締めてください。

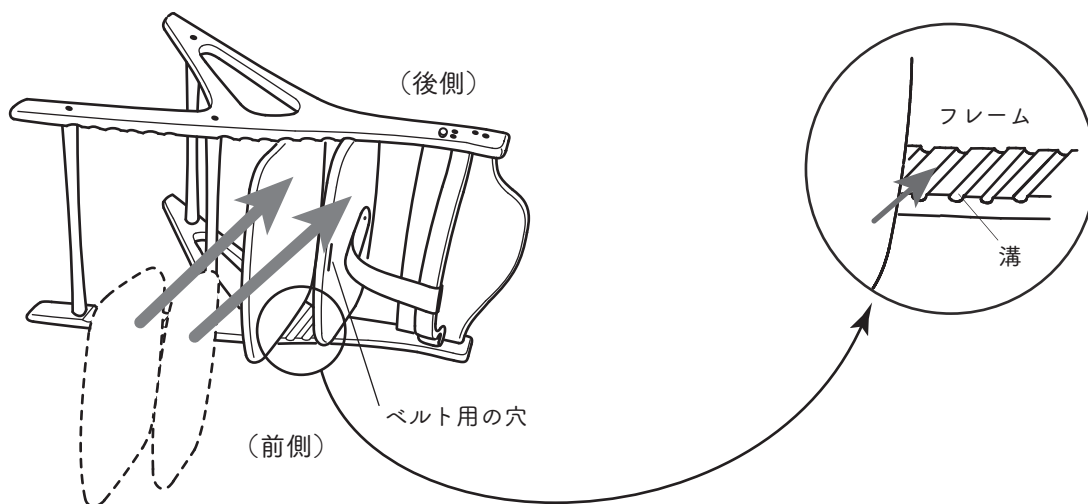
※この時点でボルトはゆるくとめてください。



6. 本体を寝かし、座板と足置き板をチェア本体の前から溝にそって平行に差し込みます。

※座板は本体前側にベルト用穴が来るように差し込んでください。（足置き板には前後はありません。）

※座板・足置き板が溝に差し込みにくい場合は組立ボルトをさらに緩めてから差し込んでください。

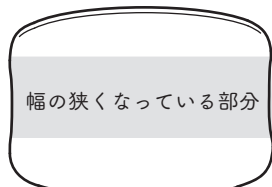


座板・足置き板の幅が少し狭くなっている部分に左右フレームが来るように組み立ててください。

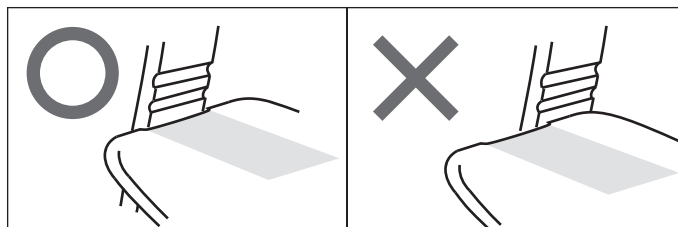
幅が広がっている部分で組立すると、正しく固定できず、座板・足置き板の落下・損傷の原因になります。



座板



足置き板



座板・足置き板の取付高さ

下図を目安に、座板と足置き板の高さを決めます。

※座る方の体型に合わせて調整してください。

区 分	ベビーハイチェア			キッズチェア		大人用チェア
						
年 齢	7 か月～	1 歳～	2 歳～	3 歳～		大人
身 長	65～70cm	70～85cm	85～95cm	95～100cm		——
座 板	1 段目	1 段目	1 段目	2 段目	9 段目 ※足置き板として使用	——
足置き板	5 段目	5～6 段目	6～7 段目	7～8 段目	3 段目 ※座板として使用	5 段目 ※座板として使用

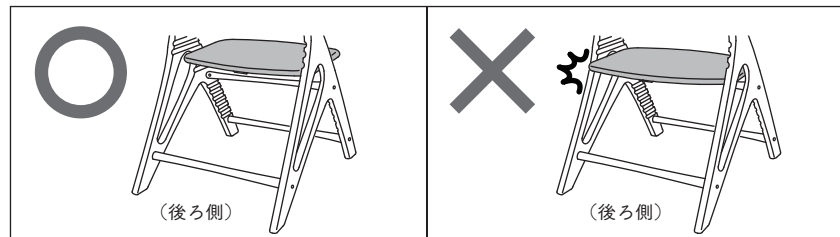
※ ベビーチェアとして使用する場合、座板を上から1段目にして、ガード・ベルトを必ず取り付けてください。

※ 座板と足置き板は3段以上あげないと、足置き板がしっかり固定できません。

※ 上から3段目より下に座る場合は、足置き板を座板としてご使用下さい。

※ 組み換えの際は「P.10」をご参照ください。

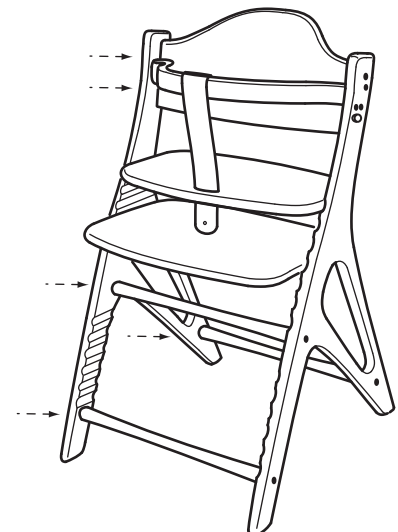
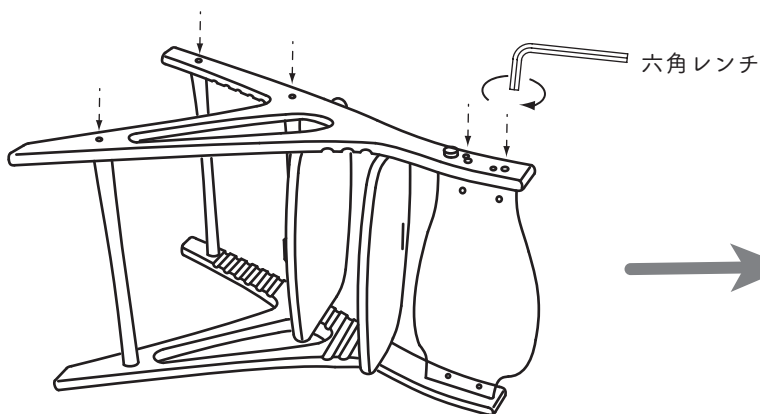
※ 足置き板を取り付ける際は
左右フレームの後ろ側に
足置き板が当たらない様に
組み立ててください。



7. ボルトを軽く締め増しします。

座板・足置き板がずれない程度に軽く締めてください。

※すべてのボルトを少しずつ均等に締め増ししてください。一部だけきつく締めるとガタツキや部品の破損の原因になります。



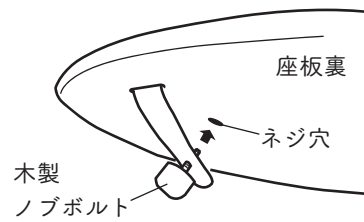
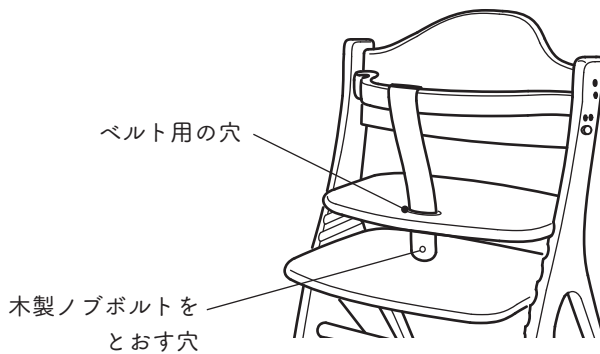
※あまりボルトがゆるすぎると商品本体を起こす際に
座板・足置き板がずれて落下する可能性があります。

静かに商品本体を起こし
反対側のボルトも軽く締め増しします。

8. ベルトを固定します。

ベルトを座板の穴にとおし、木製ノブボルトで座板裏にあるネジ穴に固定します。

※ベルトがネジ穴に届かずノブボルトがはめにくい場合は座板を少し前後にずらしてベルトを固定してから座板の位置を調節してください。

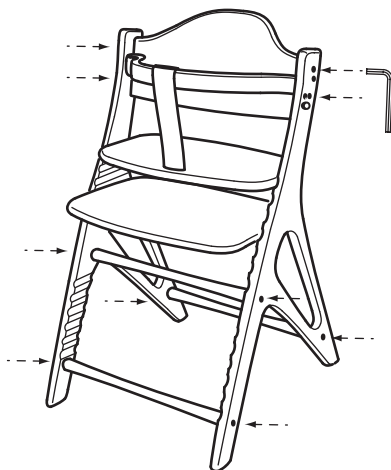


※ベルトは座板を上から1段目にセットしたときのみ使用できます。

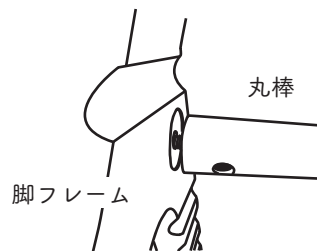
9. ボルトをすべて締め付けます。

各部が説明書通りに組みあがっていることを確認の上、全てのボルトを均等にしっかりと締め付けてください。

※座板・足置き板がしっかりと固定されていることをご確認ください。



※座板・足置き板の位置により、中央の丸棒と左右フレームの間に隙間があくことがあります。これは構造的なものであり商品に問題はありません。(不良ではありません。)

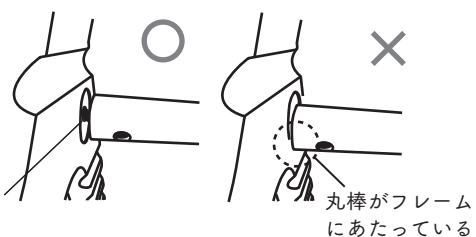
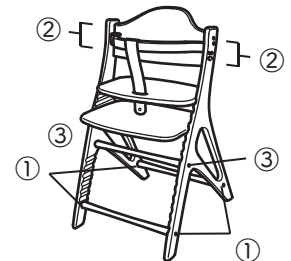


※ ボルトは左右均等に締め付けてください。片側だけ極端に締め付けると片側のみ極端に、丸棒と左右フレームの間に大きく隙間があくことがあります。

座板・足置き板が固定されない場合は？

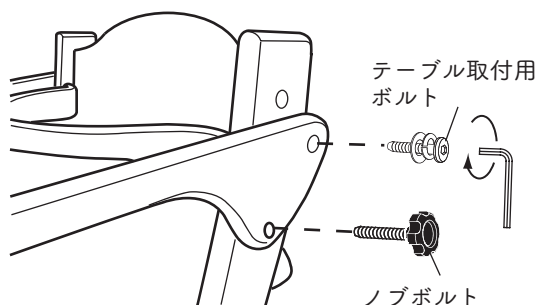
- すべてのボルトがしっかりと締まっていますか？
 - ・一度、全てのボルトをゆるめてから、再度全てのボルトを徐々に左右均等に締めなおしてください。
 - ※ ①下段 → ②上段 → ③中段 の順に締めてください。
 - ・丸棒のボルトを締める際は、丸棒を手で固定して締め付けてください。固定しないと丸棒がボルトと一緒に回ってしまい、最後まで締め付けることができません。
- 座板・足置き板は正しい位置に取り付けられていますか？
 - ・板の幅が狭くなっている部分左右フレームが来るように取り付けてください。P6 組み立て方「6.」を参照ください。
- 丸棒は丸いくぼみの中央に位置していますか？
 - ・丸棒が固定される前に、フレームにあたってしまうとしっかりと固定されません。一度ボルトをゆるめ、丸棒がくぼみの中央にくるように締めなおしてください。
 - ※くぼみがあるのは、右上図の③の部分のみです。

ボルト締め付けの順序

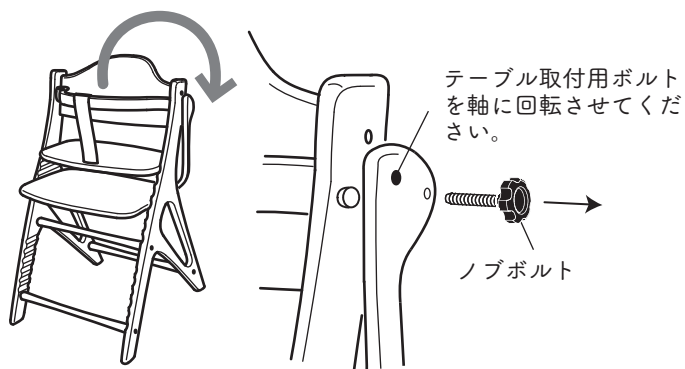


10. テーブルを取り付けます。

左右フレームにテーブル取付用ボルトで取り付けした後、ノブボルトでテーブルが動かないように固定してください。
※テーブル使用時には必ず、テーブルをノブボルトで固定してください。固定をしないと指をはさむ等の危険があります。

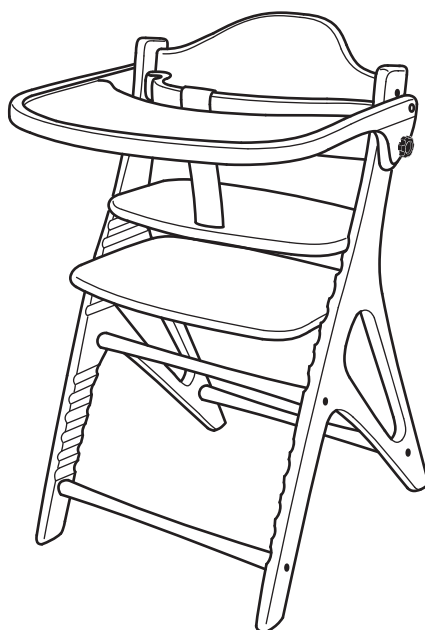


※テーブルを使わない場合はテーブルを固定しているノブボルトを外せば、テーブルを後ろに回すことができます。
※テーブル取付用ボルトは外さないでください。



11. ボルトをすべて締め付けます。

各部が説明書通りに組みあがっていることを確認の上、全てのボルトを均等にしっかりと締め付けてください。
※チェアのボルトは定期的な増し締めが必要です。ご使用前はボルトにゆるみ等がないかご確認ください。



完成図

組み立て後のご注意

- ・完成後、商品のがたつく場合は、① すべてのフレームの先が床につくまで、全体的にボルトをゆるめ
- ② 座板・足置き板が水平である（左右同じ高さの溝にはまっていて、フレームと接している位置が左右均等である）ことを確認し、③ 再度すべてのボルトを少しずつ、左右均等に締めてください。

※全体的にボルトをゆるめた後、座板を上から軽く押えながら、均等にボルトを締めていくと、がたつきが直ることがあります。

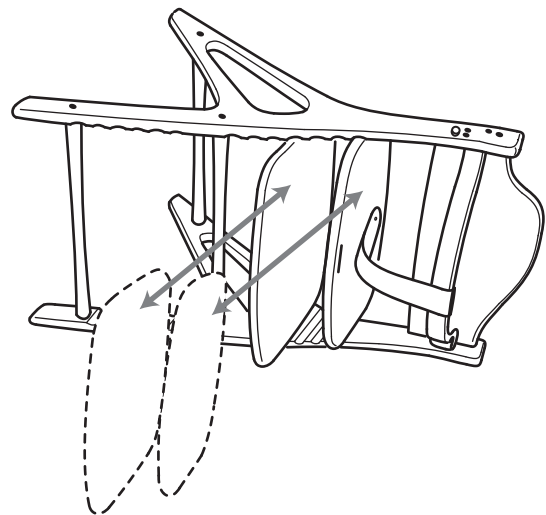
※P.8 組み立て方「座板・足置き板が固定されない場合は？」もご参照ください。

- ・この取扱説明書・六角レンチはなくさないように保管してください。

座板・足置き板の位置を変える場合

- ・テーブル・木製ノブボルトを取り外し、全体的にボルトをゆるめます。商品をゆっくりとねかせ、さらに片側のボルトをゆるめてから、座板・足置き板を抜き取ります。組み立て方「6.」にもどり、座板・足置き板を希望の高さに差し込み再度、手順に沿ってボルトを締めなおしてください。

※商品を起こしたままボルトをゆるめすぎると座板・足置き板が落下する恐れがあります。ご注意ください。



お手入れ・点検の仕方

・お手入れの仕方

日常のお手入れは、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた液を布に浸し、よく絞ってから汚れをふきとり、乾いた布で水分を残さないようにふいてください。
※水にぬれたままで放置したり、シンナーやベンジン、化学ぞうきん、研磨剤等でふいたりすると変形や変色の原因になります。

・点検の仕方

ボルトのゆるみ、木部の割れ、異常音などは、ご使用前に必ずチェックしてください。

もし異常が見つかった場合はそのままにせず、すぐに処置してください。処置しても直らない時は、販売店または弊社までご相談ください。

木製の組み立て商品は、定期的なボルトの締め増しが必要です。

締め増しの前に、組み立て金具や六角レンチに異常がないかご確認ください。

六角レンチが摩耗したり紛失した場合は、市販の六角レンチ（太さ4mm）もお使いいただけます。

エコなゴムの木

地球温暖化が問題視される現代において、
環境保全への配慮は、木製品を取扱うメーカーとして
とても大切なことです。

「アッフルチェア」に使われている木は「ゴムの木」。
計画的に植林され、天然ゴムとして樹液が採取されたあと
家具として再利用される。

「ゴムの木」はとても“エコ”な材料なのです。
その木の表情は実にさまざま。おとなしい木目もあれば、荒々しい木目も。
ひとつひとつ表情の異なる天然木ならではの
木のぬくもりを感じていただけたら。
そんな思いもこのチェアに込められています。

保証とサービスについて

・保証書の内容確認と保管のお願い

次ページの保証書の内容をよくお読みになり、必要事項をご記入の上、必ずお買い上げ伝票、または領収書を添付して、大切に保管してください。

・修理を依頼されるとき

保証期間内において、無償修理をご依頼になる場合は、弊社に商品と保証書をご提示いただきお申し付けください。ただし、郵送、宅配便の運賃はお客様がご負担ください。

※無償修理対象外の修理につきましては、弊社までお問合せください。

商品名： アッフルチェア

寸 法 : 幅 495 × 奥行 592 × 高さ 810mm

構造部材 : 主な材料 / 天然木
背板・ガード / 合板

テーブル / (ピュアナチュラル) : 合板 (その他の色) : 合板・繊維板

塗 装 : ウレタン樹脂塗装

生 産 国 : インドネシア

製 造 元 : 株式会社 大和屋

PL賠償制度付共済



保証書

保証期間はご購入日から1年です。

保証規定

- ・保証期間内において、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理を致します。
- ・修理を依頼される場合は、購入店または弊社へ商品と保証書をご提示の上、お申し付けください。
- ・修理を依頼される際のご持参、宅配便などの料金及び諸経費はお客様にご負担願います。
- ・一度使用されたものは、原則としてお取替えできません。
- ・ご購入の製品が、お客様または第三者による取扱上の誤りや仕様の限界を超えたご使用によって、故障・破損・事故その他不具合が生じた場合、弊社はその責任を負いかねます。
- ・保証期間内においても次の場合には、有償修理、あるいは修理をお受けできない場合があります。

- (1) 使用上の誤り、お取り扱いの不注意や過失による故障及び損傷
- (2) ご使用者自身又は他業者による改造や不当な修理による故障及び損傷
- (3) お買い上げ後の移動輸送、落下などによる故障及び損傷
- (4) 火災、地震、水害、落雷その他天災地災による故障及び損傷
- (5) 本書に購入月日、お客様名等の記入がない場合
- (6) 本書の提示がない場合
- (7) 一般家庭用家具を業務用に使用した場合
- (8) 天然木による自然変色・経年劣化
- (9) 木材の伸縮に伴う、表面塗装の割れ
- (10) 木目や材の性質などによる、色合い(風合い)や塗装色のばらつき
- (11) 製品本体に取り付けられているステッカー等をはがした場合
- (12) アウトレット・リサイクルショップ等での購入、他人の使用品を譲り受けたなど、元々新品でない場合
- (13) 商品に瑕疵がなく、通常の使用により発生した床や壁などの周辺物への直接の傷、間接の傷、汚損など
- (14) ご使用後の木部以外の付属品(クッション・マット類、付属チェアベルト、組み立て部品等)

無効

ている場合

本書は日本国内においてのみ有効であるとともに、再発行は致しません。

商品名	アッフルチェア	品番	☐ A01(ピュアナチュラル)	☐ A02(シェルブルー)	☐ A03(ハーブグリーン)
			☐ A04(ミルキーピンク)	☐ A05(ソフトラベンダー)	☐ A06(クリームイエロー)
ロット No.					
お名前			TEL		
ご住所 〒					
販売店(店名・住所・電話番号・ご購入日)					
お買い上げ伝票または領収書添付					

※内容をよくお読みになり、必要事項をご記入の上、必ずお買い上げ伝票、または領収書を添付して大切に保管してください。
※品質向上の為、予告なしに一部仕様変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※製造中止後、必要部品の在庫がなくなった場合は修理できない事もあります。あらかじめご了承ください。
※無償修理対象外の修理につきましては、弊社までお問合せください。



株式会社 大和屋
愛知県安城市三河安城本町2丁目8番地4
TEL 0566-72-7771
FAX 0566-72-7777
☎ 0120-27-8108 (平日9~17時)

www.yamatoya-jp.com
お問い合わせフォーム：
<http://yamatoya-jp.com/info/index.html>
お問合せは右のQRコードからも可能です。



20181004